

菊池和子写真展とスライドトークのご案内

フクシマ漂流

地震・津波・福島第一原子力発電所爆発事故から4年目の福島に行く

★場所：原発災害情報センター

★写真展：10/22(木)～11/3(祝・火) 11:00～17:00

(無料・最終日 16:00 まで・10/27 火曜日休館)

★スライドトーク：10/25(日) 14:00～16:00 (無料)

スライドトーク・菊池和子 詩の朗読・藤島昌治



菊池和子 1945年生まれ 小学校教諭のかたから48歳から夜間の写真学校で学ぶ。54歳で教職を辞しポルトガル・リスボン市で6年間暮らす。2008年に帰国し現在に至る。主な作品：「命の限り-筋ジストロフィーの青年と家族」「チマ：チョゴリの詩がきこえる-在日60余年、今、川崎で老いて」「PORTUGAL」「葉脈の街に明日を探して-釜石レポート」「フクシマ漂流」など

藤島昌治 1946年満州生まれ 70年より福島県に在住。92年、地域の人々の体験の場「気まぐれ大学」の学長となる。2011年3月11日東日本大震災による原発事故で新潟県三条市に避難。同年10月末、南相馬市鹿島区仮設住宅に入居、自治会長となる。著書に詩集「仮設にて 福島はもはや「フクシマ」となった」 菊池和子写真集「フクシマ漂流」に詩6篇

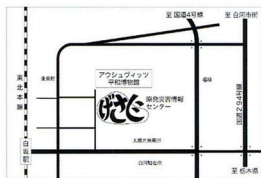
★主催：原発災害情報センター

福島県白河市白坂三輪台247 ☎0248-28-1111

★後援：白河市

白河市教育委員会

アウシュヴィッツ平和博物館



(JR東北本線白坂駅下車徒歩5分・車で白河インターから10分)